

まちづくりの目標	4	暮らしにやさしく笑顔があふれるまち		
政策	3	誰もが安心していきいきと暮らすことができるまちにします		
施策	9	市民の健康を守るまちにします	担当部(統括部)	保健福祉部

【実現している姿】

目標	市民や事業者が自主的に健康管理を行い、生活習慣病などの予防や疾病の早期発見・早期治療が進んでいます。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)
目標	健康づくりをめざして活動する自主グループや団体が増加し、交流も広がっています。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)

実現している姿を確認する指標

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
特定保健指導対象者率(国民健康保険の加入者)	目標	—	—	—	13.0%	12.5%	12.5%	12.2%	12.0%	11.7%	10.0%
	実績	15.3%	13.9%	13.6%	13.2%	12.9%					
各種がん検診受診率(胃がん・大腸がん・肺がん・子宮がん・乳がん)	目標	—	—	—	15.0%	20.0%	25.0%	30.0%	35.0%	37.5%	50.0%
	実績	9.8%	12.3%	12.9%	13.7%	13.1%					
各種予防接種率(ポリオ、BCG、MR(Ⅰ・Ⅱ期)、DPT(Ⅰ・Ⅱ期))	目標	—	—	—	83.0%	85.0%	88.0%	89.0%	90.0%	91.0%	95.0%
	実績	81.7%	80.2%	81.3%	81.2%	91.3%					
健康づくり自主グループの数	目標	—	—	—	35グループ	36グループ	37グループ	38グループ	40グループ	42グループ	50グループ
	実績	28グループ	31グループ	34グループ	37グループ	44グループ					

【施策の展開】◎は重点的な取組み

◎地域との連携による健康づくりの推進		平成26年度事業費計				
		32,944千円				
地域の組織や団体、健康づくり自主グループと連携しながら、健康づくり運動や食育の取組みを推進します。						
平成26年度事業	◇介護予防普及啓発事業984千円・◇地域介護予防活動支援事業550千円(高齢介護課) ◇健康せつつ21推進事業9,056千円(保健福祉課) ◇保健施設事業(保健衛生普及費)22,354千円(国保年金課)					
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	第4期実施計画期間		後期終了年度
				平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	大阪府内の自主グループ交流会に参加できるように支援	市内の自主グループ交流会で多くのグループが交流を図る。	市内の自主グループ交流会で多くのグループが交流を図る。	市内の自主グループ交流会で多くのグループが交流を図る。	市内の自主グループ交流会で多くのグループが交流を図る。	市内の健康づくり自主グループ交流会を自主運営して開催できるように支援
取組実績	11月に田尻町で豊中市、四条畷市、田尻町、摂津市の4市の健康づくり自主グループが集まり、健康づくり交流会が行われた。交流会では参加者全員でノルディックウォーキングの実施。また各市、各グループの健康づくり活動の取り組みなどの紹介や意見交換が行われた。					
成果	健康づくりグループ交流会において、他のグループの活動発表を参考に、自分たちの日々の取り組みの評価や見直す良い機会となった。今後の地域の健康づくりに対する日々の活動意欲向上にもつながった。また、今回はいきいき体操の会だけではなく多くのグループからの参加があり、今回の交流を通し健康づくり活動の大切さや各グループの自主性が昨年度より向上した。					
次年度課題	次年度は参加市町村減少に伴い、交流会不参加と決定あり。地域活動に重点を置く。					

	第4期実施計画期間					後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	健康づくり推進リーダーのスキルアップ講座の開催	健康づくり推進リーダー養成講座を開催し、新たなリーダーグループを育成	健康づくり推進リーダースキルアップ講座を開催し、地域で活動できるように支援	健康づくり推進リーダー養成講座を開催し、新たなリーダーグループを育成	健康づくり推進リーダー養成講座を開催し、新たなリーダーグループを育成	健康づくり推進リーダーが地域で活動できるように支援
取組実績	乳幼児きから食の大切さを伝えるため、育児相談の場で食育をテーマにしたエプロンシアターを3回実施、地域での取り組みについての学習会1回、企画・運営など会議3回					
成果	13名の会員、自主グループ「食育スマイル」の設立					
次年度課題	「食育スマイル」グループの地域での活動の場を広げていくとともに新たな健康づくり推進リーダー養成講座を開催する。					
計画	—	まちごとフィットネス！ヘルシータウンせつつ事業として、別府・味生地域に健康遊具とウォーキングコースの設定と紹介マップを作成していく	まちごとフィットネス！ヘルシータウンせつつ事業として、新幹線公園を中心に健康遊具とウォーキングコースの設定と紹介マップを作成していく	まちごとフィットネス！ヘルシータウンせつつ事業として、吹田操車場跡地を中心とした千里丘地域に健康遊具とウォーキングコースの設定と紹介マップを作成していく	まちごとフィットネス！ヘルシータウンせつつ事業として、3箇年で完成させたウォーキングコースを有効的に活用展開していく	全市域の健康遊具やウォーキングコースを使用したイベントを開催。
取組実績						
成果						
次年度課題						
計画	介護予防講座の開催、グループ交流会・研修会の支援の拡充	介護予防講座の開催、グループ交流会・研修会の実施	介護予防講座の開催、グループ交流会・研修会の支援の見直し	介護予防講座の開催、グループ交流会・研修会の実施	介護予防講座の開催、グループ交流会・研修会の実施	介護予防講座の開催、グループ交流会・研修会の支援の見直し
取組実績	はつらつ元気アップ教室を地域の集会所等、5か所で開催。(市場公民館17名、第20集会所14名、鶴野会館12名、鳥飼下会館14名、ふれあいの里11名参加。)健康づくりグループ交流会を春と秋の2回開催。(春:113人参加、23グループ参加。秋:450人参加、20グループ発表。)					
成果	はつらつ元気アップ教室を5か所で開催し、自主グループ化に向けて支援した結果、4グループが新たに立ち上がった。					
次年度課題	行政主導ではなく、市民主導の講座に変更し、参加者の意識を上げる。多くの実施希望の声があがるように、PR活動を行う。					
計画	市民健康まつりの開催	市民健康まつりを開催。介護フェア等のイベントとの調整を図る	市民健康まつりを開催。介護フェア等のイベントとの調整を図る	市民健康まつりを開催。介護フェア等のイベントとの調整を図る	市民健康まつりを開催。介護フェア等のイベントとの調整を図る	市民健康まつりを開催。介護フェア等のイベントとの調整を図る
取組実績	市民健康まつりを11月に保健センターで開催した。雨天にも関わらず約1,500人の参加があった。新たに、カラー版の啓発チラシを作成し案内した。					
成果	参加団体の展示や実地体験、健康相談等を通して市民の健康づくりの意識の涵養を図ることができた。					
次年度課題	コミュニティーセンターと保健センターでイベントを重ねて実施したが次年度も他のイベントとの調整が必要。雨天の場合の対応を準備が必要。					

◎保健事業の充実・拡大						平成26年度事業費計 138,718千円
特定健診、各種がん検診、歯科健診などの内容の充実や受診機会の拡大を図り、受診率を高め、疾病の早期発見・早期治療を行います。また、健診後の健康相談や個別指導などの充実を図り、日常生活の中で適切に健康づくりを行うことができるように支援します。						
平成26年度事業	◇特定健診・特定保健指導事業1,490千円・◇がん検診事業38,138千円・◇歯科健康診査事業32,310千円(保健福祉課) ◇保健施設事業(特定健康診査等事業費)66,780千円(国保年金課)					
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	第4期実施計画期間		後期終了年度
				平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	一定の節目年齢対象者に自己負担金無料クーポン券を活用した健診受診勧奨を実施	一定の節目年齢対象者に自己負担金無料クーポン券を活用した健診受診勧奨を実施	一定の節目年齢対象者に自己負担金無料クーポン券を活用した健診受診勧奨を実施	一定の節目年齢対象者に自己負担金無料クーポン券を活用した健診受診勧奨を実施	一定の節目年齢対象者に自己負担金無料クーポン券を活用した健診受診勧奨を実施	健診受診状況を確認し、健診受診勧奨方法を検討
取組実績	40歳以上で対象年齢の方に胃・大腸・肺がん検診の自己負担金無料のクーポン券を特定健診の案内に同封し発送した。					
成果	各種がん検診の受診者が平成23年度より増加した。					
次年度課題	無料クーポンを開始して2年であり、継続して節目年齢の方への無料クーポン券を活用した受診勧奨を継続し、検証する。					
計画	成人歯科健診を節目年齢対象者以外は有料とし受診勧奨。妊婦歯科健診の実施	成人歯科健診、妊婦歯科健診の受診率向上をはかる。	成人歯科健診、妊婦歯科健診の受診率向上をはかる。	成人歯科健診、妊婦歯科健診の受診率向上をはかる。	成人歯科健診、妊婦歯科健診の受診率向上をはかる。	成人歯科健診・妊婦歯科健診の評価・検討
取組実績	成人歯科健診の検査項目(デンタル)を1つ追加した。また、無料対象者のうち、未受診者に対して、未受診勧奨を実施した。					
成果	成人歯科健診の受診率は6.7%で低下したが、妊婦歯科健診の受診者が増加した。(受診率32.3%)					
次年度課題	成人歯科健診、妊婦歯科健診の受診率向上を図る。					
計画	健診結果がハイリスク基準以上の方へ受診勧奨・生活指導を実施し、指導方法を評価・検討	ハイリスク基準や指導方法を検討し、ハイリスク基準以上の人へ早期受診勧奨・生活指導を実施。	健診結果がハイリスク基準以上の人へ早期受診勧奨・生活指導を実施。	健診結果がハイリスク基準以上の人への指導方法を評価・検討	健診結果がハイリスク基準以上の人への指導方法を評価・検討	健診結果がハイリスク基準以上の人への指導方法を評価・検討
取組実績	健診のハイリスク項目を追加(eGFR)。ハイリスク基準対象者に対し医療への受診勧奨と生活指導を実施。医療への未受診者へは受診勧奨後の受診確認を実施。					
成果	ハイリスクの方88人に受診勧奨を行った。					
次年度課題	要治療者とともに予防の視点で強化した取り組みを行う。					
計画	要精密検査判定者の精密検査受診勧奨を行い、結果を把握	要精密検査判定者の精密検査受診勧奨を行い、結果を把握	要精密検査判定者の精密検査受診勧奨を行い、結果を把握	精密検査受診状況の評価・検討	精密検査受診状況の評価・検討	精密検査受診状況の評価・検討
取組実績	がん検診の要精密検査判定の方で、精密検査未受診者に受診勧奨を行った。					
成果	受診勧奨を行い、結果の把握に努めた。					
次年度課題	精密検査の必要な方には必ず受診してもらうようにする。					

	第4期実施計画期間					後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	各種健診の評価・検討	各種健診の実施	各種健診の実施	各種健診の実施	各種健診の実施	各種健診の評価・検討
取組実績	前立腺がんの精密検査の把握方法を検討。医療機関と連携し、結果の把握を実施した。					
成果	各医療機関が精密検査の方へ紹介状を発行し、専門病院での受診勧奨を行った。					
次年度課題	各検診の予約・受診動向を評価検討し、検診回数や曜日など設定を見直す。					

○防疫施策の充実	平成26年度事業費計 200,562千円
感染症に関する啓発、予防接種の積極的な推進など防疫施策の充実を図り、保健所や医師会などと連携し、健康危機管理の観点に立った即応体制の整備に取り組みます。	

平成26年度事業 ◇感染症予防事業200,562千円(保健福祉課)

	第4期実施計画期間					後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	定期予防接種と子宮頸がん予防ワクチン、ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンの接種費用一部助成を実施。麻疹・風疹混合ワクチンの3・4期は平成25年3月まで終了	定期予防接種として子宮頸がん予防ワクチン、ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンの予防接種が追加。新たに高齢者肺炎球菌ワクチンの接種費用の一部助成を開始	定期予防接種と高齢者肺炎球菌ワクチンの一部助成を実施	定期予防接種と高齢者肺炎球菌ワクチンの一部助成を実施実施	定期予防接種と高齢者肺炎球菌ワクチンの一部助成を実施実施	定期予防接種と高齢者肺炎球菌ワクチンの一部助成を実施実施
取組実績	定期予防接種として9月より不活化ポリオ、11月より四種混合を新たに開始した。					
成果	子宮頸がんワクチンは124人(延べ547人)、ヒブワクチンは814人(延べ2350人)、小児用肺炎球菌ワクチンは850人(延べ2520人)が接種した。					
次年度課題	定期予防接種の変更点等の市民への周知					
	第4期実施計画期間					後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	定期的に予防接種検討委員会を開催	定期的に予防接種検討委員会を開催し、BCG(現在4ヶ月健診開催時に実施)の接種体制を検討する	定期的に予防接種検討委員会を開催し、BCGの接種率、他市の体制を参考にしながら検討をつける	定期的に予防接種検討委員会を開催 法定接種に関する接種率、未接種者対策等を講じる	定期的に予防接種検討委員会を開催 法定接種に関する接種率、未接種者対策等を講じる	定期的に予防接種検討委員会を開催
取組実績	不活化ポリオ予防接種、MR(麻しん・風しん混合ワクチン)第3期集団接種について検討するため、臨時に予防接種検討委員会を開催した。					
成果	MR第3期について集団接種はせず、未接種勧奨を市、学校より徹底することが決定した。また次年度の予防接種の体制について協議を行い、接種準備を進めた。接種率は85.8%であった。					
次年度課題	予防接種に関する情報に注視しながら対応をする。					
計画	新たな感染症が発生した時には感染症対策委員会を開催し、対応策を検討・実施	新たな感染症が発生した時には感染症対策委員会を開催し、対応策を検討・実施	新たな感染症が発生した時には感染症対策委員会を開催し、対応策を検討・実施	新たな感染症が発生した時には感染症対策委員会を開催し、対応策を検討・実施	新たな感染症が発生した時には感染症対策委員会を開催し、対応策を検討・実施	新たな感染症が発生した時には感染症対策委員会を開催し、対応策を検討・実施
取組実績	新たな感染症の発生がなかったため、感染症対策委員会の開催はなかった。					
成果	—					
次年度課題	—					

○保健体制の機能強化						平成26年度事業費計
						31,410千円
保健所、保健センター、医師会、歯科医師会などとの連携と役割分担のもと、総合的な健康管理や健康増進機能の強化と体制の整備に取り組みます。						
平成26年度事業	◇健康せつつ21推進事業9,056千円(保健福祉課) ◇保健施設事業(保健衛生普及費)22,354千円(国保年金課)					
	第4期実施計画期間					後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	保健所、三師会などの関係機関と連携し、「健康せつつ21」の取組みを評価	第2次「健康せつつ21」健康づくり計画を策定	「健康せつつ21」健康づくり計画に基づく各種保健事業・健康づくり事業の実施	「健康せつつ21」健康づくり計画に基づく各種保健事業・健康づくり事業の実施	「健康せつつ21」健康づくり計画に基づく各種保健事業・健康づくり事業の実施	「健康せつつ21」健康づくり計画に基づく各種保健事業・健康づくり事業の実施
取組実績	課で把握できる保健に関する資料に加え、市役所関係各課にデータや取り組み状況について情報提供を依頼。また、健康指標の比較や健康課題の確認を目的に市民に対し健康に関するアンケート(学童・生徒および成人)を実施し、健康せつつ21最終評価報告書を作成。					
成果	健康せつつ21を平成13年度の計画策定時から平成24年度の最終評価時にかけて達成度を評価した。65項目のうち、目標達成40項目、未達成24項目、変化なし1項目。					
次年度課題	国や大阪府の指針や目標にあわせて「第2次健康せつつ21」を策定					
計画	摂津市保健センター事業の世代別エクササイズに男性や若い世代が参加しやすい工夫を図る。	摂津市保健センター事業の充実を図るよう検討した事業を実施	摂津市保健センター事業の充実を図るよう検討した事業を実施	摂津市保健センター事業の評価・検討	摂津市保健センター事業の評価・検討	摂津市保健センター事業の評価・検討
取組実績	実施コースを2コース増やし、夜間の開催を設定。					
成果	5クール50回開催し、実108人、延892人の参加があった。参加者のアンケートではほとんどが「楽しく参加できた」であったが、運動の習慣化にはつながるまでは至らなかった。					
次年度課題	更なる参加者増にむけて、特定保健指導対象者枠を設置し、案内を行う。世代の枠を広げる。午前コースを縮小し夜間コースを拡大する。					
計画	保健センター、三師会などの関係機関の協力で市民健康まつりを開催	保健センター、三師会などの関係機関の協力で市民健康まつりを開催	保健センター、三師会などの関係機関の協力で市民健康まつりを開催	保健センター、三師会などの関係機関の協力で市民健康まつりを開催	保健センター、三師会などの関係機関の協力で市民健康まつりを開催	保健センター、三師会などの関係機関の協力で市民健康まつりを開催
取組実績	同日に介護フェア、虐待等ネットワーク立上イベントと併せて、11月に19団体の参加のもと保健センターで開催し、雨天にも関わらず約1,500人の参加があった。					
成果	他のイベントと同日開催することで新たな参加者が増えた。					
次年度課題	コミュニティセンターと保健センターの会場を有効的に使用できるように検討する。					

【摂津市の特色や魅力のある取組みとして進めていくこと】

健康づくり自主グループの活動の促進		平成26年度事業費計 10,590千円				
健康づくり推進リーダー養成講座や介護予防講座などを開催し、その修了者が健康づくり活動を継続できるように支援します。また、グループの交流会を開催し、活動の活性化を促進します。						
平成26年度事業	◇介護予防普及啓発事業984千円・◇地域介護予防活動支援事業550千円(高齢介護課) ◇健康せつつ21推進事業9,056千円(保健福祉課)					
			第4期実施計画期間			後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	健康づくり推進リーダーのスキルアップ講座の開催	健康づくり推進リーダー養成講座を開催し、新たなリーダーグループを育成	健康づくり推進リーダースキルアップ講座を開催し、地域で活動できるように支援	健康づくり推進リーダー養成講座を開催し、新たなリーダーグループを育成	健康づくり推進リーダー養成講座を開催し、新たなリーダーグループを育成	健康づくり推進リーダーが地域で活動できるように支援
取組実績	乳幼児期から食の大切さを伝えるため、育児相談の場で食育をテーマにしたエプロンシアターを3回実施、地域での取り組みについての学習会1回、企画・運営など会議3回開催。					
成果	13名の会員、自主グループ「食育スマイル」を設立した。					
次年度課題	「食育スマイル」グループの地域での活動の場を広げていくとともに新たな健康づくり推進リーダー養成講座を開催する。					
計画	修了後のグループ化を意識した講座を開催するとともに、グループ交流会の支援やスキルアップのための研修等を実施	グループ交流会の支援やスキルアップのための研修等を実施	グループ交流会の支援やスキルアップのための研修等を実施	グループ交流会の支援やスキルアップのための研修等を実施	グループ交流会の支援やスキルアップのための研修等を実施	修了後のグループ化を意識した講座を開催するとともに、グループ交流会の支援やスキルアップのための研修等を実施
取組実績	はつらつ元気アップ教室を地域の集会所等、5か所で開催。(市場公民館17名、第20集会所14名、鶴野会館12名、鳥飼下会館14名、ふれあいの里11名参加。)健康づくりグループ交流会を春と秋の2回開催。(春:113人参加、23グループ参加。秋:450人参加、20グループ発表。)					
成果	はつらつ元気アップ教室を5か所で開催し、自主グループ化に向けて支援した結果、4グループが新たに立ち上がった。					
次年度課題	行政主導ではなく、市民主導の講座に変更し、参加者の意識を上げる。多くの実施希望の声があがるように、PR活動を行う。					